

外国語学部 中国語学科

教育研究上の目的

中国語学科は、高度な中国語運用能力を身に付けるとともに、中国の言語・社会・文化・歴史について深く専門的に学び、日中間の経済と文化交流の場で活躍できる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、外国語学部中国語学科では、多様かつ体系的に構成された課程に基づき、実践的な中国語運用能力と中国の諸分野に関する知識の獲得を目指した専門教育を展開しつつ、初年次教育、キャリア教育、教養教育、言語教育を含む全学共通の基礎教育と有機的に関連させることにより、4年間の学習を通じて習得した能力と知識を活用して、日中間の経済・文化交流の場で活躍し得る有為な人材を育成します。

本学科で展開する専門教育では、外国語学部における教育の特徴である、少人数教育、双方向型教育、習熟度別クラス編成によって、社会での活躍のために必須となる表現能力およびコミュニケーション能力を涵養します。また、中国の言語・歴史・社会文化の各分野について優れた研究業績と豊富な教育経験を有する教員の指導により、ダイナミックに変化する世界の中で、日本と中国の関係を巨視的観点から捉えるための幅広い教養体系の構築を図ります。以上を教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本学科のカリキュラム（全学共通の教養・外国語科目を含む）において、所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる能力や知識・教養を身につけていると判断し、学士(文学)が授与されます。

1. 中国語の実践的な運用能力
2. 中国の言語、歴史、政治、経済、社会、文化のいずれか、もしくは複数の分野に関する専門的な知識
3. 世界の中での日本と中国という視点を持って、両国間、さらにアジアの経済と文化交流の場で活躍できるための教養
4. 社会から求められている基礎的な力である表現能力やコミュニケーション能力

カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本学科は、中国語の実践的な運用能力、中国に関連する専門知識、日本と中国、アジアに関連する教養を総合的に修得することができるように、以下のような学修・教育課程を編成しています。

1. 少人数によるクラス編成を行い、専門ゼミナールと「卒業論文」を必修科目とする。
2. 学生の適性を考慮した言語コースと社会文化コースを設ける。
3. 中国語の運用能力を高めるため、1～3年次までの「中国語演習」の必修科目を置くとともに、その応用・訓練の場として海外実習、スピーチコンテスト等、カリキュラム外のプログラムを活用する。
4. 幅広い教養を身につけ、コミュニケーション能力を高めるために、「FYS(ファースト・イヤー・セミナー)」やキャリア教育を含む教養教育・外国語教育を実施する。